

旅行地理Ⅰ

科目ナンバー 8C309
専門 基礎系 選択 2
単位

荒井 良雄

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、旅行先となりうる事例として日本の島々を取り上げ、それぞれの島について、基本的な地理的条件、歴史、社会や産業の特徴、抱えている課題などを、自分で調べて報告してもらい、それを基に皆で討論します。「旅に出たくなる」授業を目指します。旅行好きな人、地理好きな人、歓迎です。この授業では、DP1の能力を身につけることを目指します。

2. 授業の到達目標

学生は、ある地域についてのさまざまな情報を集め、それを整理・分析して、他人に確実に伝え、それを基に皆とディスカッションして、地域の現状や課題を的確に理解し、問題の解決を目指す能力を身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

試験(40%)および授業での発表資料、口頭報告やディスカッションの内容・活発さ等(計60%)を総合して評価します。各発表やディスカッションの発言に対するコメントがフィードバックになります。

4. 教科書・参考文献

教科書

平岡・須山・宮内(編) 『図説 日本の島』 朝倉書店、2018年、ISBN978-4-254-16355-1

5. 準備学修の内容

授業で報告する島の状況などについて、自分で文献や記事等の情報を集めて理解を深める必要があります。インターネットからの情報収集も有効です。担当する報告のためのレジュメ等の準備には少なくとも6時間以上、それ以外の回でも対象の島について、事前に基本的知識を得てメモを作成しておくために1時間半程度の準備を必要とします。各回の発表・ディスカッションの後、それをまとめたメモを作成することが全員に求められます。

6. その他履修上の注意事項

少なくとも1回以上の報告を行い、ディスカッションに積極的に参加することが求められます。具体的に取り上げる島や進め方は、第1回目の授業で相談します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(本授業の進め方)
- 【第2回】 資料作成と報告の仕方についての講習と発表スケジュール調整
- 【第3回】 日本の島の概要・特徴についての講義
- 【第4回】 北海道の島々。事前に、対象の島々についての情報を収集して、メモを作成しておくこと。報告者はレジュメを準備すること。(以下、同様)
- 【第5回】 東北地方の島々
- 【第6回】 北陸地方の島々
- 【第7回】 関東・東海地方の島々
- 【第8回】 瀬戸内地方の島々(1)
- 【第9回】 瀬戸内地方の島々(2)
- 【第10回】 中国地方日本海沿岸の島々
- 【第11回】 九州北部の島々
- 【第12回】 九州南部・奄美地方の島々
- 【第13回】 沖縄の島々
- 【第14回】 遠隔離島
- 【第15回】 まとめ・総括